

平成 29 年（2017 年）2 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4 日目）

平成 29 年 2 月 24 日（金）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	糸数昌洋 (公明党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 環境行政について 2 中心市街地の活性化について 3 住宅行政について 4 教育行政について	施政方針にある「クールチョイス（賢い選択）」の普及啓発事業は、CO2 排出削減促進に向けた国民運動の一環として注目されているが、その意義と次年度に事業応募するに至った経緯について問う (1) 農連市場地区の整備事業の進捗と課題について問う (2) 第一牧志公設市場再整備事業について 再整備基本計画に対するパブリックコメント及び説明会の状況について問う 市営住宅における排水管破損の状況と対応について問う 就学援助費について、小学校における新入学児童学用品費の入学前支給の実施について対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 平成29年2月24日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	渡久地 政作 (新風会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	地域の防犯・交通安全活動を推進する施策について	(1) 保安灯設置等事業補助金について ① 事業対象と目的を伺う ② 平成28年度現在、本市の保安灯設置件数と予算を伺う。又、新規設置の要望件数と予算は ③ 自治会、通り会に属していない地域の対応はどうなっているのか ④ 久茂地地域をはじめ企業や店舗が多い地域への保安灯設置対応はどうなっているか (2) スクールゾーンについて ① スクールゾーンの定義 ② スクールゾーンの規制は各自治体によって決められていると聞くが、本市の規制について伺う ③ 取り締まりについてどうなっているか ④ 市内36小学校スクールゾーン委員会に対して補助金を交付しているが、補助金の活用はどのように実施しているのか 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（4日目） 平成29年2月24日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>平良 識子 (沖縄社会大衆党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 公共空間と公共トイレについて</p> <p>2 観光経済政策について</p> <p>3 子育て支援について</p> <p>4 犬猫殺処分を減らす取り組みについて</p>	<p>沖縄建築士会が平成25年に開催した那覇市緑ヶ丘公園エントランススペース意匠選定設計競技において最優秀作品賞に選ばれた設計により建築された緑ヶ丘公園エントランススペース公衆便所が、2015年グッドトイレ選奨、2016年にはグッドデザイン賞を受賞した。グッドデザイン審査委員は「公園などの公共空間において、トイレは管理や防犯、公園の快適性に対して、常に大きな課題となる。ここでは、街と公園の際をトイレと一体的にデザインすることで、一つの解を与えている」と評価した。公共トイレを魅力的な公共空間へしつらえた、本市の斬新な取り組みを高く評価する。設計コンペの経緯、今後設置予定の公園等における公共トイレについて伺う</p> <p>沖縄・那覇の観光課題が、特にファミリー層を中心とした夜の観光である。現在、国際通りで毎週日曜日に実施しているトランジットモールについて、週末夜に実施拡大し、新たなイベントを創出し、観光客の夜の受け皿となることを提案するが見解を伺う</p> <p>男性の育児啓発を目指して、1990年代半ばから各自治体が独自に作成している父子手帳について、本市も導入してほしい。見解を伺う</p> <p>飼い主のいない猫の収容および殺処分数を減らし、地域の糞尿被害の生活環境問題を軽減することを目的とした、飼い主のいない猫の不妊去勢手術実施事業について、対象地域をこれまで観光地周辺および公園から、住宅地含む市内全域に拡大したことを高く評価する。事業の内容、犬猫殺処分数と県への委託料の推移について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>宮城 恵美子 (社民・市民初)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>翁長県知事は、あらゆる手段を使って辺野古新基地建設を阻止すると公約した。城間市長は翁長知事を支えると公約した。衆議院議員選挙、沖縄県知事選挙、参議院議員選挙等を通じて繰り返し表明されている沖縄の意思は、辺野古に新基地を作らせないということである。この沖縄住民の意思を受け、どのように辺野古新基地の阻止に取り組むかを以下伺う</p> <p>自己決定権について</p> <p>(1) 全国民の辺野古新基地建設に対する意識、また沖縄住民の辺野古新基地建設に対する意識について伺う</p> <p>(2) 日本の政権のあり方はいかがか、また日米が一体となって沖縄に基地過重負担になっていると思うが見解を伺う</p> <p>(3) 地方自治における自己決定権、という方針が示され、自己決定権を入れたことを高く評価するが、地方自治の視点でこの状況を変えて辺野古新基地阻止の見通しが持てるのか、特に自公政権では防衛と外交は国の専管事項と主張し、地方自治が及ぶのはその他の民生分野（健康保険・保育・税・教育等々で地方自治の本旨、住民自治と団体自治）に制限する国会答弁が行われてきたが見解を伺う</p> <p>(4) 沖縄で主張されてきた自己決定権とは何か見解を伺う</p> <p>(5) 自己決定権を真正面から規定した法律は何か伺う、そして使える法律をしっかりと使うことで国を沖縄側から動かすことが必要ではないか見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 民生委員・児童委員について</p> <p>3 子育て世代包括支援センターについて</p>	<p>充足率について何う</p> <p>(1) 子育て世代包括センター(沖縄版ネウボラ)の必要性について</p> <p>(2) 那覇市は沖縄市、うるま市とともに県の調査研究事業のモデル地域となっている。その進捗状況について何う</p> <p>(3) 関係機関との連携など今後の体制整備について何う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成29年2月24日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>奥間 亮 (自民党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 こどもの居場所づくり支援について</p> <p>2 アレルギー対応給食について</p> <p>3 こどもたちとシルバー人材について</p> <p>4 介護福祉行政について</p> <p>5 若者に対する支援について</p> <p>6 小緑クンジーについて</p> <p>7 道路交通行政について</p> <p>8 犯罪被害者支援について</p>	<p>本市においてこどもの居場所として利用されている各施設の利用ニーズに応じた改修や、こどもたちが使用する学習に係る備品(パソコンや机など)を整備すべきである。見解を伺う</p> <p>食物アレルギーのあるこどもたちが、できるだけ教室で友達と一緒に給食が食べられるよう、本市のアレルギー対応給食のさらなる安全かつ充実に向けた施策を推進すべきである。見解を伺う</p> <p>こどもたちとシルバー人材のかかわりについて伺う</p> <p>今後の特別養護老人ホームの設置計画と、地域バランスを考えた設置について</p> <p>義務教育を修了した若者の、就職や転職、専門学習、資格取得、学び直し等の支援をさらに充実させるべきである。現状と今後の取り組みについて伺う</p> <p>小緑クンジーの再興と継承発展をさらに支援すべきである。見解を伺う</p> <p>市内に外国人観光客や留学生が年々増えていることから、交通標識の英語表記を進めるべきである。見解を伺う</p> <p>本市における犯罪被害者支援を進めるべきである。現状と今後の取り組みについて伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>9 公園行政について</p> <p>10 スポーツ行政（バスケットボール振興について）</p>	<p>新都心公園は、多くの市民から親しまれている。公園行政として高く評価しており、さらなるにぎわいと、より良い管理に期待をしている 現在の新都心公園の利用状況や管理状況について伺う</p> <p>バスケットボールは、市民に親しまれるスポーツ競技として、教育や健康増進、経済観光の推進のみならず、数ある世界的スポーツの中でも、音楽やファッション、カルチャーやエンターテインメント等と密接にかかわっている、素晴らしい国民的スポーツであると考えている 那覇市のバスケットボール振興をさらに推進すべきである。以下伺う 近年、国際バスケットボール連盟（F I B A）が正式競技種目として推進している3人制バスケット「3×3（スリーバイスリー）」に注目が集っており、世界的にも日本国内でも人気が高まっている。那覇市においても、3×3の周知拡大や競技力向上を後押しすべきだと考えるが、見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成29年2月24日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>金城 徹 (新風会)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 建設管理行政の歴史散歩道整備について</p> <p>2 企画行政について</p>	<p>真珠道は、尚真王代（1465～1527）に首里王府が敷設した国道である。はじめは首里から真玉橋（まだんばし）までの約4kmにわたって敷設されたが、1553年には那覇湊（なふぁみなど）まで延長された。総距離は約8kmに及んでおり、石畳が敷かれており、その当時、東シナ海沿岸部では海賊による被害が多発していたことから、首里王府は防備の強化を進めていた。このような中で真珠道は守備兵の円滑な移動と共に、首里王府から防備の前線となる那覇湊へ迅速に伝令するという役割を有していた</p> <p>その起点となったのは、守礼門の南東側にあった「石門（いしじょー）から、金城町、識名坂（シチナンダビラ）、前道（メーミチ）、村小（ムラグァー）勢頭坂（シードゥビラ）、識名を経て、真珠湊（那覇港南岸）に至る石畳道である。つまりこの古道は、首里城から那覇港の防衛の拠点、垣花の屋良座森城（ヤラザムイグスク）への軍用道路でもあった</p> <p>(1) 真珠道の歴史文化的な意義について伺う</p> <p>(2) 沖縄らしい観光資源の活用の観点から伺う</p> <p>(3) 地域のまちづくり及び景観強化事業としての見解を伺う</p> <p>(4) 真珠道の整備状況について伺う</p> <p>行政におけるオープンデータの活用について</p> <p>(1) 企画財務部としての活用の検討について伺う</p> <p>(2) 建設管理行政における道路台帳の情報のオープンデータ化について見解を伺う</p> <p>(3) 観光行政におけるオープンデータの活用について課題と検討の経過について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成29年2月24日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>古堅茂治 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 平和行政について</p> <p>2 文化行政について</p> <p>3 スポーツ行政について</p>	<p>城間市長が施政方針で表明した那覇市連合遺族会主催の「なぐやけの碑慰霊祭」を引き継ぎ、本市主催の戦没者追悼式として開催することを高く評価する</p> <p>悲惨な戦争体験が平和を希求する沖縄の心の礎。戦没者追悼式は、市民の戦争体験を継承し、命どう宝・反戦平和の沖縄の心で、恒久平和への決意を固めあう場、戦争のない世界を希求する那覇市民の強い意思を発信する場。未来を担う子どもたちや多くの市民、関係者が気軽に参列できる場とすべきと考えるが、対応を問う</p> <p>(1) 人々に生きる力を与え、心豊かなくらしに欠かすことができないのが文化活動である 沖縄の誇り・伝統文化の継承・発展、新たな文化創造などの文化活動、御茶屋御殿復元への取り組みを問う</p> <p>(2) 5つの体験工房、販売場、展示室がある那覇市伝統工芸館の果たしている大きな役割と、本市の伝統工芸振興への取り組みを問う</p> <p>(1) 自治体には、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」とうたったスポーツ基本法に基づくスポーツ施策の充実が求められている。本市は、昨年の沖縄県民体育大会で男女総合・女子総合の2年連続優勝の成果をあげている。本市でのスポーツ推進計画の策定、スポーツ施策の拡充、空手振興への取り組みを問う</p> <p>(2) パークゴルフは、親・子・孫、三世代が一緒に楽しめる安全なスポーツで、県内でも健康増進へパークゴルフ場を設置する自治体が増えている 本市でも、市民の声に応じて、新設する識名公園にパークゴルフ場の設置を進めるべきと考える。対応を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 交通行政について</p> <p>5 環境・都市計画行政について</p>	<p>(1) 「ゆいレール」延長事業の開業スケジュールと石嶺駅交通広場の特徴を問う</p> <p>(2) OKICA・ICカードの利用促進への課題を問う</p> <p>(3) 本市の交通渋滞の状況と解消に向けての取り組みを問う</p> <p>首里石嶺町地域住民からの陳情、「金城砂販売所の移転による良好な居住及び教育環境の実現に関することについて」が、昨年6月定例会市議会で採択された。担当部局の対応と取り組みを問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>